

平成30年度 事業報告

自：2018年6月1日

至：2019年5月31日

一般社団法人静岡県ビルメンテナンス協会

【会議・講習会等の開催】

- 定時総会 (1回) 7/31
- 臨時総会 (2回) 2/5 5/28
- 理事会 (3回) 7/24 12/6 5/21
- 各委員会 (9回) 定例又は、必要に応じて開催
- 清掃の出前教室(2回) 6/5 11/8
- 障がい者ビルクリーニング技能競技会(アビリンピック) 7/7
- 貯水槽清掃作業従事者研修 9/26
- 安全大会 10/23
- 清掃作業従事者研修指導者講習会 11/27
- ビルメンセミナー 1/29
- 青年部通常総会 6/26
- 青年部臨時総会 1/23
- 清掃作業従事者研修 2/26
- 第19回静岡県ビルクリーニング技能競技会 4/23
- 従業員協会長表彰 5/28

【全国協会関係会議等】

- 地区本部会議(3回) 6/13(福井県) 10/16(岐阜県)
3/7(静岡県)
- 全国協会理事会(3回) 9/10 11/20 4/25
- 全国協会定時総会 7/26
- 全国都道府県協会長会議 1/23
- 建築物評価資格者講習 首席打合せ会議(テレビ会議) 7/18
- 教育研修WG(テレビ会議) 3/28

【事業概要】

1. 総務に関する事業（総務委員会）

- (1) 事業計画に基づき、予算の適正な執行、健全な財政の保持確保に努めるとともに、各委員会及び事務局の連携を密にし、円滑な協会活動の推進を図った。
- (2) 県当局と連携を図り、建築物衛生法に基づく事業登録の促進に努めるとともに、新規登録者及び登録事業所の指導育成に努めた。
- (3) 当業界の団結と協会組織の拡大強化を図るため、新規加入者の促進に努めた。 期首会員 52 期末 53 期首賛助会員 14 期末 14
- (4) 会員名簿については、ビルメン会報誌に掲載し、会員及び関係機関に配布した。
- (5) 協会所属企業9社から推薦のあった従業員30名について協会長表彰を授与するとともに、表彰式を開催し、代表者5名に会長から表彰状を授与し、記念品を贈呈した。
- (6) 業務運営の透明化及び適正化を図るため、業務・財務等に関する資料について、平成14年度から開始したインターネットによる公開を継続した。
- (7) その他関係諸団体との意思疎通を図り、当業界の社会的地位の向上に努めた。

2. 業務運営に関する事業

（業務運営委員会）

- (1) 障がい者ビルクリーニング技能競技会の実施(7/7)
平成30年度静岡県障がい者技能競技大会（アビリンピック）において、ビルクリーニング技能競技会を清水テルサ（静岡市清水区）にて開催した。（参加選手21名）
- (2) ビルメンセミナーの開催（1/29）
会員企業の営業に携わる役付き職員を対象として、講演会「建築物の浄化槽管理と浄化槽法定検査について」（講師：賛助会員（一財）静岡県生活科学検査センター施設検査部長西島晴彦氏）を実施するとともに参加者相互の意見交換会を行った。（参加者：20社 36名）

(3) 静岡県ビルクリーニング技能競技会 (4/23)

第19回静岡県ビルクリーニング技能競技会を、中部地区大会の予選を兼ねて、ツインメッセ静岡において開催した。

地区大会出場者2名が決定した。

(教育研修委員会)

(1) 貯水槽清掃作業従事者研修の開催 (9/26)

建築物衛生法施行規則第28条の2に基づく厚生労働大臣の研修登録機関である全国協会の下に、静岡市産学交流センターを会場として従事者研修を開催した。

講師：協会4名 県水利用課1名 (受講者66名)

(2) 清掃作業従事者研修指導者講習会の開催(11/27)

建築物衛生法に基づく建築物清掃業、環境衛生一般管理業及び環境衛生総合管理業に係る従事者研修指導者の新規講習、

再講習を同時に実施し、認定証を交付した。

講師：協会4名 県水利用課1名 (受講者 新規14名再講習29名)

(3) 清掃作業従事者研修の開催 (2/26)

建築物衛生法施行規則第28条の2に基づく厚生労働大臣の研修登録機関である全国協会の下に、静岡市産学交流センターで「清掃作業従事者研修」を開催した。講師：協会6名 (受講者37名)

3. 労働諸問題に関する事業

(労働委員会)

(1) 労災保険料の完全納付

前年度に引き続き、労災保険料の適正申告及び完全納付について、静岡労働局、全国協会作成の文書、チラシ等により、その周知に努めた。

(2) 論文・標語・ポスターの募集 (8/3締切り、8/23審査会)

従業員の安全意識の高揚を図るため、例年のとおり労働、交通安全に関する論文・標語・ポスターの募集を行った。応募件数は、論文の部5社14点、標語の部10社73点、ポスターの部4社10点の応募が

あり、審査の結果、優秀作品を安全大会の席上において発表し、表彰状及び賞金を贈り、安全意識の高揚に努めた。

(3) 安全大会の開催 (10/23)

労働交通災害防止の意識高揚を図るため労災保険収支改善計画推進事業の一環として、第24回安全大会を静岡労働局の後援の下に静岡市において開催した。先に募集した論文・標語・ポスターの入選発表、表彰式に続き、静岡労働局大石伊佐夫産業安全専門官の「労働安全講話」、「食の学び舎くるみ」中野ヤスコ代表の「労働災害防止対策講演」の講演により会員、非会員企業の安全管理者、従業員等に安全意識の高揚を図った。(参加者：34社 65名)

(4) 労働災害防止対策の一環として、労災事故月次報告書提出の徹底をお願いするとともに、東・中・西部地区の安全推進対策責任者に集計報告を依頼した。

4. 広報厚生に関する事業

(広報厚生委員会)

(1) 会報の発行

協会活動の広報、宣伝を行うため、会員からの情報、その他掲載資料関係者の協力を得て、第63号を発行し、会員及び関係者に配布した。

(2) 清掃の出前教室(学校訪問清掃啓発教室) (6/5、11/8)

清掃は、より良い環境衛生を実現するための基礎であり、重要な行為です。次の世代を担う児童に対し、清掃の重要性と清掃がより良い環境衛生のもとであることの認識を啓発するため、協会員が学校に出向き清掃についての出前授業を実施した。

6月5日 磐田市立富士見小学校6年生 3クラス 105名
14社 39名参加

11月8日 藤枝市立高洲小学校5年生 4クラス 128名
13社 27名参加

(3) 全協ニュース、業界紙その他地元新聞報道機関の協力を得て、協会活動のPRに努めた。

5. 青年部活動

(1) ボランティア活動

地域貢献として、「久能山東照宮」の清掃を、平成30年10月11日（木）38名が参加して実施した。

(2) 全国大会

平成30年10月4日、5日に第23回ビルメンテナンス青年部全国大会 in 福岡をホテルオークラ福岡にて開催、参加しました。

6. その他

全国協会及びビル管理教育センター、その他関係機関が実施した各種試験、講習会等の受付審査に協力した。

ビルクリーニング技能検定受検準備講習 3名